

第3分科会 道徳教育

問題解決的な授業を 目指して

青森：平川市立竹館小学校
教諭 千葉光帆

りんご



ねぶた




2


さくら



白神山地

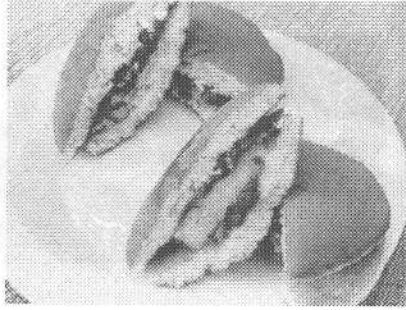


3

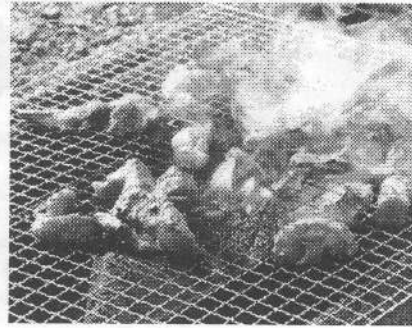


4

わさもどら

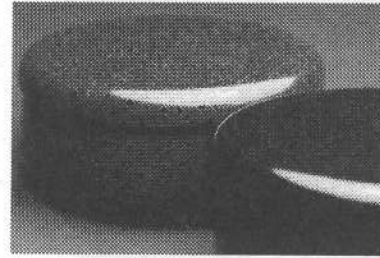


平川さがり



5

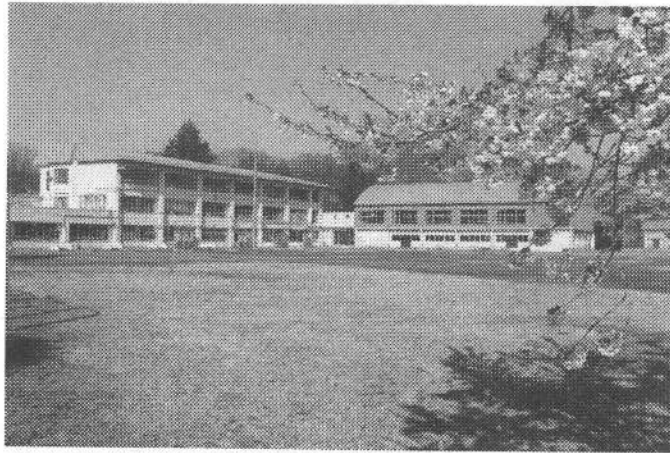
津軽塗



津軽こぎん刺し



6



7



8

提案要旨

多様な価値観が混在している現代社会



身のまわりの問題に対して、

自分でどうすべきかを考え、対応しなければならない

社会において自立した人間としてよりよく生きていく

9

提案要旨

学校教育全体を通じて
道徳教育を充実させ
豊かな道徳性を育む

要となるのが
「特別の教科 道徳」

10

提案要旨

これまでの課題

- ・単なる生活体験の話合い
- ・登場人物の心情理解
- ・望ましいことを言わせる、書かせる

11

提案要旨

自己をみつめ、
物事を多面的・多角的に考え、
自己の生き方についての考えを深める

授業

12

提案要旨

問題解決的な学習

- ・子どもたちに問題意識をもたせる
- ・話し合い・交流による人との関わり

13

問題解決的な授業 を目指して

- ・(1)ねらいと実態による
指導方法の精選
- ・(2)問題意識を
もたせるために
- ・(3)充実した話し合い・
交流活動のために
- ・(4)授業を支える取組

14

(1)ねらいと実態による 指導方法の精選

(1)ねらいと実態による指導方法の精選

ねらいとなる道徳的価値

現在の子ども
(実態の把握)
・アンケート
・パフォーマンス

めざす子どもの姿
(教育目標)
・学校経営方針
・学年や学級経営案

どんなことを考えさせたいか、どんなことに気付かせたいか、
どんな行動をとってほしいか など

16

(1)ねらいと実態による指導方法の精選

子どもの実態

興味

発表

直面している
問題

人間関係

真剣に考えさせるために、話しやすい雰囲気にするために、
いろいろな視点で考えることができるように など

17

(1)ねらいと実態による指導方法の精選

ねらいとなる道徳的価値



より深い学びになるような
指導方法や手立て

18

(2)問題意識を
もたせるために

(2)問題意識をもたせるために

- ・登場人物に自分を置き換えてみる
- ・問題点を自分事として受け止める
- ・自分の生活を振り返る
- ・自分だったらどうするか

20

(2)問題意識をもたせるために

発問の工夫

21

発問の工夫

教師による発問は、生徒が自分との関わりの中で道徳的価値を理解したり、自己を見つめたり、物事を多面的・多角的に考えたりするための思考や話し合いを深める重要な鍵になる。

～中略～

考える必然性や切実感のある発問、自由な思考を促す発問、物事を多面的・多角的に考えたりする発問などを心がけることが大切である。 【参考】中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編（P84）

補助発問

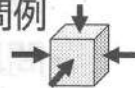
授業のある場面で、「問い返し」「揺さぶり」をすることで、子どもの考えを深めたり、広げたりするなどの効果が期待できる。

【参考】「新発問パターン大全集（明治図書）」道徳教育（P20）より

22

多面的・多角的な見方・考え方

①「登場人物は、なぜ、そのような行為をしたのか」
→多面的な見方・考え方を引き出す発問例



②「もしあなたなら、どうしますか」
→多角的な見方・考え方を引き出す発問例



【参考】子どもが考え、議論する問題解決型の道徳授業事例集（図書文化）より

23

導入における発問の工夫について

- ・道徳的テーマを具体的な経験と結び付ける発問
- ・道徳的価値の意味や意義を尋ねる発問
- ・展開部で扱う教材について補足説明する発問

【参考】子どもが考え、議論する問題解決型の道徳授業事例集（図書文化）より

24

展開における発問の工夫について

- ・問題を明らかにする発問
- ・解決策を構想するよう促す発問
- ・解決策を吟味するよう促す発問

【参考】子どもが考え、議論する問題解決型の道徳授業事例集（図書文化）より

25

終末における発問の工夫について

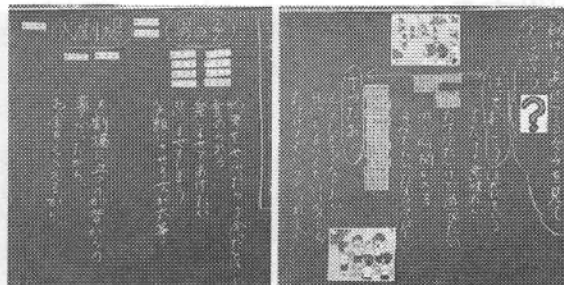
- ・まとめを促す発問
- ・再び道徳的価値の意味や意義について尋ねる発問
- ・今後の目標や課題を尋ねる発問

【参考】子どもが考え、議論する問題解決型の道徳授業事例集（図書文化）より

26

(2) 問題意識をもたせるために

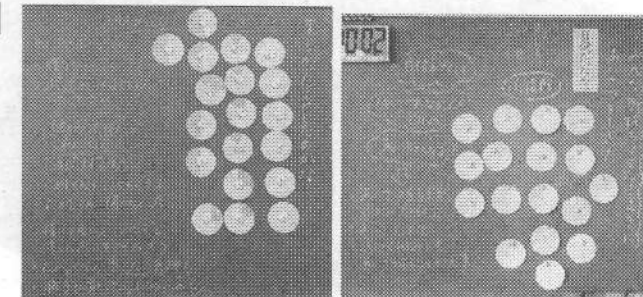
ネームカード



27

(2) 問題意識をもたせるために

心情円



28

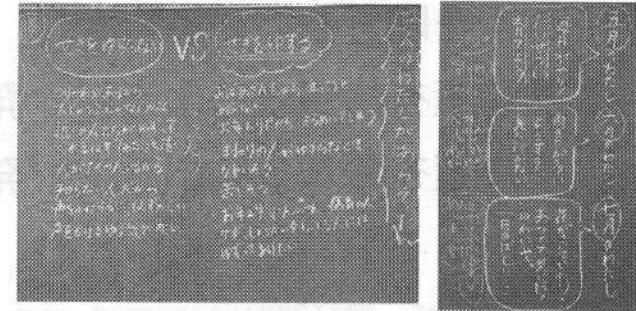
(2)問題意識をもたせるために

役割演技



(2)問題意識をもたせるために

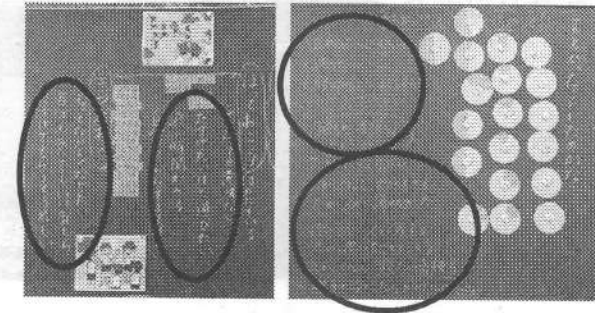
比べる



(3)充実した話し合い・
交流活動のために

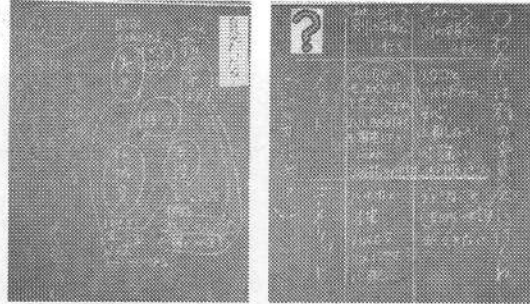
(3)充実した話し合い・交流活動のために

理由を
尋ねる



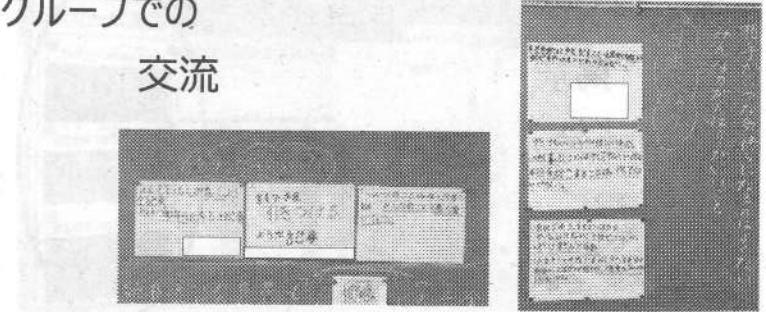
(3) 充実した話し合い・交流活動のために

思考ツールの
利用



(3) 充実した話し合い・交流活動のために

グループでの
交流

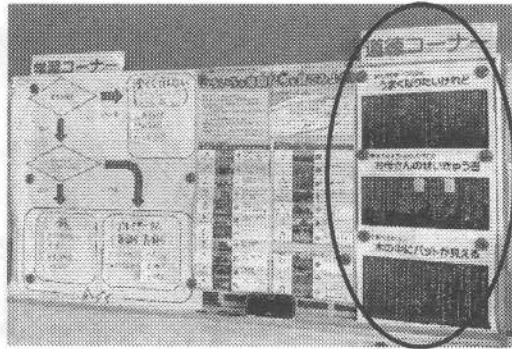


充実した話し合い・交流活動のためのICT活用

段階	学習の目的	主な学習活動	ICTの活用例
導入	・実態や問題を知る。	・道徳的価値について、問題意識をもつ。	・実態や問題の提示 (画像や映像、グラフ、アンケート等)
展開	・教材を活用して、道徳的価値を理解し、よりよい生き方を考える。	・自分自身との関わりで考える。 ・多面的・多角的に考える。 ・自己の(人間としての)生き方について考えを深める。	・教材の提示(画像や映像等) ・自分の考えをもつ(タブレットに示す) ・他者の考えを知る(タブレットに共有する)(表やグラフ等) ・話し合う(対話) ・自己を見つめる(タブレットに蓄積する)
終末	・よりよい生き方の実現への思いや願いを深める。	・道徳的価値についての自己実現への意欲を高める。	・生活の様子の提示(画像や映像等) ・外部の方の言葉の提示(画像や映像等)

(4) 授業を支える取組

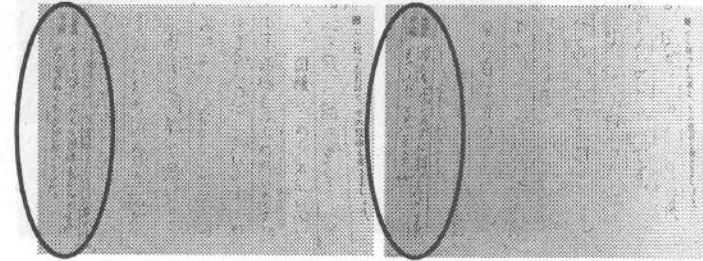
(4)授業を支える取組

道徳コーナーの
掲示

37

(4)授業を支える取組

保護者との連携



38

今後の課題

評 価

39

道徳科の評価の在り方

- ・ 数値による評価ではなく、記述式であること。
- ・ 他の児童との比較による相対評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価として行うこと。
- ・ 他の児童生徒と比較して優劣を決めるような評価はなじまないことに留意する必要があること。
- ・ 個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価を行うこと。
- ・ 発達障害等の児童についての配慮すべき観点等を学校や教員間で共有すること。
- ・ 現在の指導要録の書式における「総合的な学習の時間の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「総合所見及び指導上参考となる諸事項」などの既存の欄も含めて、その在り方を総合的に見直すこと。

【参考】小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P105より

40

今後の課題

(1)授業における児童の見取り

今後の課題

(2)学習状況の把握と評価

今後の課題

(3)指導と評価の一体化による
授業改善

道徳科における評価

 教師

教師が指導の目標や計画、
指導方法の改善・充実に
取り組むための資料とな
るもの

生徒 

自らの成長を実感し、意
欲の向上につなげていく
もの



指導と評価の一体化

【参考】小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P105より

指導の諸方法を評価の観点の例

- ア ねらいを達成するために適切な方法であったか。
- イ 児童の多面的・多角的な思考を促す上で適切な方法であったか。
- ウ 自分との関わりで考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
- エ ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための方法は、児童の実態や発達段階にふさわしいものであったか。
- オ 児童一人一人が、自分との関わりで考え、自己の生き方についての考えを深められるものだったか。自発的に問題を考え、積極的に学習を行うような配慮がなされていたか。

【参考】小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P107より

ありがとうございました

